

## 木版画 5 人展 「twinkle twinkle little things」 開催のご案内

*Woodcut Printing group exhibition "twinkle twinkle little things"*

### 【展覧会詳細】

会期 | 2023年9月9日(土)～9月18日(月・祝)

時間 | 12:00～18:00

休廊日 | 9/14(木曜日定休)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388

[info@heptagonworks.com](mailto:info@heptagonworks.com)

[www.heptagonworks.com](http://www.heptagonworks.com)



日々の暮らしに埋もれる、「きらめく小さな星々」を  
丁寧につく上げ、独自の視点で制作を続ける5人の木版画家、  
川端千絵・久木朋子・田村洋子・本田このみ・ba-ba Woodcut print  
による展覧会です。

木版画の持つ温かな風合いや力強さ、または透明感のある色彩の美しさを  
存分に堪能して頂き、皆さまの生活にささやかな安らぎと幸福感を  
お届けできたらと願っております。

●参加作家紹介／川端千絵 Chie Kawabata



『スイミング』水性木版画 (2016) (200×160mm)

日々の暮らしの中で、ふと心に引っかかった物や風景、出来事からイメージを膨らませて作品を制作しています。それは単に想像の世界を膨らませるような事では無く、自分の内に深く潜っていく感覚に近いものです。そこから拾い上げるイメージは、私にとってどこか懐かしく、安らぎを与えてくれるもので、そして非常に個人的なものです。しかし、私のそんな個人的な作品が、見知らぬどなたかの心に引っかかる時があり、それがとてもおもしろく、愛おしく感じながら作品を作っています。

日本の伝統木版画の代表的な技法であるぼかし刷りと、現代技法であるニスに版に塗布して独特のテクスチャーを刷り取る技法や木版凹版技法を取り混ぜて制作しています。

1974年 京都府生まれ  
1998年 京都精華大学美術学部造形学科版画専攻卒業  
2000年 京都精華大学大学院美術研究科造形専攻版画分野終了

■ 展覧会など

1997年 第49回京展<紫賞受賞> (京都市美術館 / 京都)  
2002年 第2回山本鼎版画大賞展<佳賞受賞>  
(山本鼎記念館 / 長野)  
2003年 京都府美術工芸新鋭選抜展  
第55回京展 <市長賞受賞> (京都市美術館 / 京都)  
日本・ブルガリア国際版画展 <奨励賞受賞>  
(京都市美術館別館 / 京都)  
2005年 新鋭美術選抜展 (京都市美術館 / 京都)  
2012年 個展「隣り合う物語」(ギャラリー恵風 / 京都)  
(T-BOXギャラリー / 東京)  
2015年 個展「星に住む人」(ギャラリー恵風 / 京都)  
(T-BOXギャラリー / 東京)  
2017年 個展「MY HOME」(ギャラリー恵風 / 京都)  
2021年 アワガミ国際ミニプリント展2021 大賞受賞  
個展「window」(ギャラリー恵風 / 京都)



『王子様の星』水性木版画 (2015) (820×540mm)

現在、京都を中心に作品発表を続けながら、大学やカルチャーセンター、小学校等で美術の指導を精力的に行っている。



●参加作家紹介／久木朋子 Tomoko Kyuuki



『Turn Turn Turn』  
多色摺水性木版画 (2021) (380×550mm)

山登りや里山生活の中で出会った自然をモチーフに、生き物たちのつながりや季節の移り変わりなど自然の循環をテーマに多色摺木版画を制作しています。色数分の版木を彫り、バレンで摺重ねていく、昔ながらの手作業の多色摺木版画は、たくさんの生き物たちを楽しく鮮やかに表現するぴったりの方法だと思っています。



『雪宿り』多色摺水性木版画 (2022) (380×550mm)

1970年 和歌山県生まれ  
1993年 京都教育大学教育学部特修美術科卒業  
2000年より独学で多色摺木版画制作を始める  
2005年 日本版画協会版画展出品 (2015年まで)  
2010年 ヒマラヤ・エベレスト街道取材  
2016年 ツール・ド・モンブラン取材  
2018年 CWAJ 現代版画展出品  
2019年 フィンランドのラップランド取材  
ホクレン、大阪信用金庫、JA 共済などの  
企業カレンダーに作品提供

札幌、盛岡、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、  
神戸、広島、高松、福岡などで個展開催  
兵庫県三田市在住



●参加作家紹介／田村洋子 Hiroko Tamura



『レモンの上で。』水性木版画 (2022) (155×160mm)



『舟の上で待つ』水性木版画 (2022) (300×220mm)

自宅の庭で育てた植物や野菜、身の回りの風景などがモチーフとしてよく作品に登場します。

植物たちの成長を間近に感じてパワーをもらいながら、その力強い生命力や美しさ、不思議さを表現できればと思っています。

近年では新たに彫り進み版画にも挑戦しています。水性木版画特有の淡い色の重なりを楽しんでいただけますと幸いです。

1985 奈良県生駒市生まれ

2010 京都精華大学 芸術学部 メディア造形学科版画コース卒業

▪ 個展

2011-2016, 2018, 2020-2022 (gallery morning / 京都)

2017 「Food」(美容室 Bouclettes / 大阪)

▪ グループ展

2015 「新鋭木版画作家展」(ギャラリー恵風 / 京都)(同' 17,19,21,23)

2017 「わが心のふるさと四人展」展(阪神梅田本店 / 大阪)

2018 「夕紅の四色葉」4人展(京都大丸 / 京都)

田村洋子・本田このみ二人展(伊東屋 銀座本店 / 東京)(同' 19,20,23)

2018年1月より2年間、華道一派、未生流の月刊誌『未生』の表紙デザインを担当。

2018年4月～2021年3月、朝日放送テレビ『朝だ！生です旅サラダ』のスタジオセットに作品を提供。

2019 「珠玉の風景四人展」(阪神梅田本店 / 大阪)

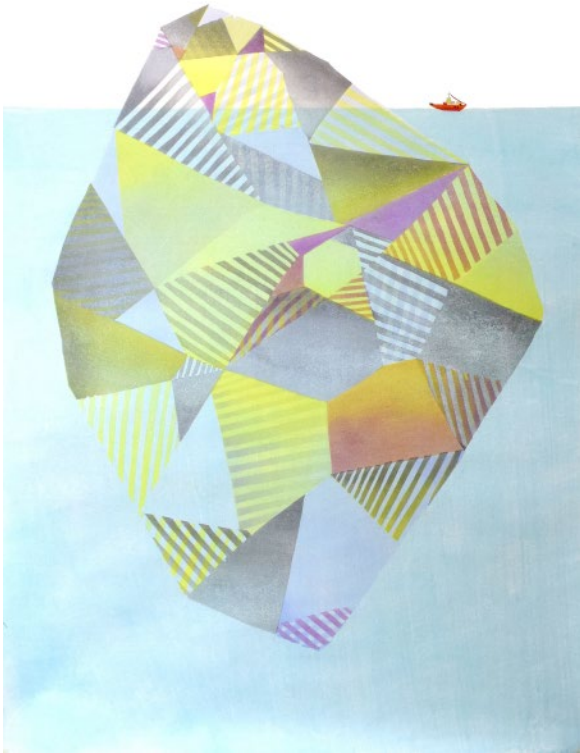
2021 木版画で彩る日本の四季展(丸善日本橋店 / 東京)(同' 22)

イレブンガールズアートコレクション(ヒルトピアアートスクエア / 東京)

二人展「柔らかな日常」(京都大丸 / 京都)

2022 『演画・中の島ブルース II』(gallery morning / 京都) 他多数

## ●参加作家紹介／本田このみ Konomi Honda



『氷山の一角』水性多色木版画 (2014) (940×715mm)

作品制作は私にとって時々書き留める日記のようなものです。

「ここから見た風景がキレイだったよ。」

「この色とこの色の組み合わせ、よくない？」

「今日ちょっと眠たいんだよね。」

小さな出来事を作品にのせて、見ていただいた方の新しい発見になったり、息抜きになったり…

少し気持ちが豊かになるような、作品を作っていきたいと思っています。

制作技法として水性多色木版画を選んでいきます。木版画の持つ柔らかな色彩や「彫り」と「摺り」という作業を経ることで出る独特の手作業の味が面白く、「版」という媒体を通して制作するからこそ「思い通りにはいかない、少し自分とは距離のある表現」がとても魅力的です。日々のちょっとした出来事を伝えるには、それくらいの軽さ（距離感）もちょうど良いのかなと、このコンセプトを書きながら思いました。



『海』水性多色木版画 (2021) (570×415mm)

1987年 兵庫県生まれ。

2010年 京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース卒業。

関西を中心に個展やグループ展にて発表を続ける一方で、2012年から2017年まで貼り箱専門BOX&NEEDLEに勤務し、独立後も様々なパッケージデザイン、パターンデザインなどを手がける。

現在は関西を中心に木版画教室なども開催している。

### ■近年の主な個展

2012-2015、2017、2019-2021 ギャラリーモーニング（京都）

2013-2015、2017、2019 BOX&NEEDLE（東京）

2016 ソーイングギャラリー（大阪）

2017 bgm ギャラリー（京都）

2020 マチマチ書店（京都）

### ■近年の主な仕事

2013～ BOX&NEEDLE オリジナルペーパー デザイン

2021 六甲山上シェアオフィス「ROKKONOMAD」ロゴ担当

2021～ KAKOGAWA RIVERSIDE FITNESS FESTA

ポスターイラスト担当



## ●参加作家紹介／ ba-ba Woodcut print (バーバ ウッドカットプリント)

出産後、子育てをしながら子どもの服を縫ったり編み物をしたり、その延長で木版画を再開することになりました。散歩の中で見つけた花や季節の花、記憶を喚起する花などをモチーフに、模様のような花の絵を作っています。日々の生活の中で何かを作ることは私にとって生きることそのものなのだと改めて実感しています。

私の木版画は小さな版がひとつと墨1色で摺りあがります。このシンプルな方法は当時、まだ幼い子どもと生活しながら見つけた知恵でした。小さな版画を並べるとテキスタイルの模様のようにつながり、広がり、その画面からはまた別のカタチを発見することができます。



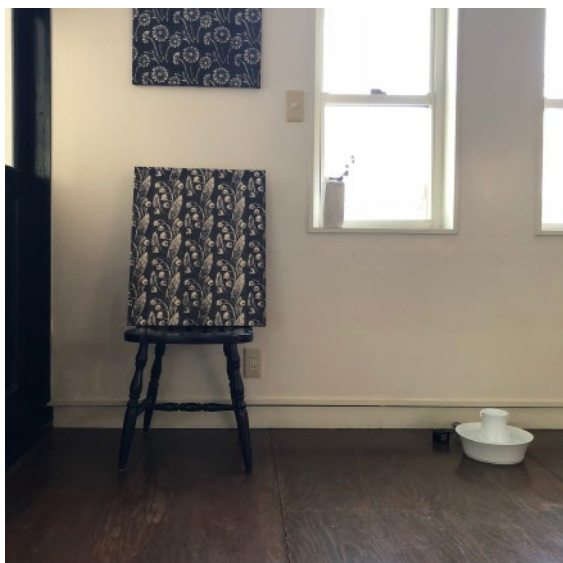
『マーガレット』単色木版画・コラージュ (2018) (333×333mm)

1981年京都府に生まれる

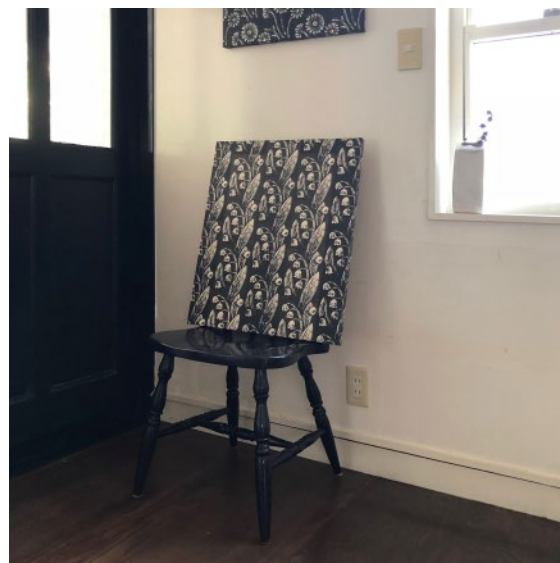
2004年京都精華大学芸術学部造形学科版画コース卒業

2006年京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

大学では木版画と紙造形を専攻し、卒業後は講師のかたわら個展やグループ展で発表してきた。出産後、娘の寝る間に始めた木版画で ba-ba Woodcut print として活動再開し、2021年にオンラインショップを立ち上げる。展覧会での発表は今回が初めてとなる。



『すずらん』  
単色木版画・  
コラージュ  
(2018)  
(606×500mm)



## 展覧会オリジナルポートフォリオ・ワークショップのご案内

### ●ポートフォリオ「twinkle twinkle little things」

展覧会と同じタイトルで、参加作家による小作品集を出版いたします。

各作家1点ずつ計5作品を収録し、作品を収める箱も作家によるオリジナルです。

【部数】 限定5セット

【価格】 未定

### ●ワークショップ

#### ▶木版画の摺実演

10cm程度の4色刷りの木版画の摺りを実演します。希望者には最後の1版の摺りを体験していただき出来上がったものをお持ち帰りいただきます。

【日時】 9月10日（日）13時～16時

【参加費】 無料

【講師】 久木 朋子

【定員】 先着30名

#### ▶テントボックスを作ろう

こちらで用意した木版画の紙を使って、テントの形をした紙箱を作ります。ちょっとした小物入れに最適です。

【日時】 9月16日（土）①13時～15時 ②15時半～17時半

【講師】 本田このみ・田村洋子

【参加費】 3,500円

【定員】 各5名（要予約・小学生高学年から参加OK）

#### ▶木版画でオリジナルアートパネルを作ろう

木版画で彫られたサンプルの版を自由に刷り重ねて、小さなアートパネルを作ります。

完成したアートパネルはお部屋に簡単に飾って頂けます。

【日時】 9月17日（日）①13時～14時半 ②15時～16時半

【講師】 川端千絵・ba-ba woodcut print

【参加費】 3,500円

【定員】 各5名（要予約・小学生以上から参加OK）

※いずれのワークショップも持ち物は特にありません。汚れても良い服装でお越しください。

※ご予約は、ギャラリーヘプタゴンのウェブサイトおよびSNSメッセージ、  
予約用メールアドレス reservation2023@heptagonworks.com より承ります。  
ギャラリーからの返信をもって予約完了とします。